

2009年9月29日

キヤノン株式会社
アドビ システムズ インコーポレーテッド

キヤノンとアドビ システムズが 電子文書セキュリティ分野において全世界で販売協業

キヤノン株式会社（本社：東京都大田区、以下キヤノン）と、アドビ システムズ インコーポレーテッド（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ システムズ）は、オフィス環境における高レベルの電子文書セキュリティの実現を目指し、ドキュメントソリューション分野における販売活動においてグローバルに協業していくことに合意しました。

キヤノンとアドビ システムズは、2005 年以来、効率的な文書ワークフローの実現を目的として、両社の製品連携を強化し、高品質なソリューションの提供を進めてきました。今回の両社の協業は、アドビ システムズの電子文書セキュリティシステム「Adobe® LiveCycle™ Rights Management ES（以下「LCRM」）」と、キヤノンの複合機「imageRUNNER ADVANCE（イメージランナー・アドバンス、以下「iR-ADV」）」シリーズ* について、全世界の販売活動において連携し、オフィス環境に強固な電子文書のセキュリティを提供していくというものです。これにより、パソコン上で生成された文書から、紙から電子化された文書に至るまで、機密情報が不正に扱われる危険性を包括的に低減すると同時に、業務の生産性を向上させることが可能になります。

本協業に基づき、キヤノンとアドビ システムズは、官公庁や地方自治体、大手企業などを中心に広がる既存の「LCRM」ユーザーに対しては「iR-ADV」シリーズの導入を、キヤノンの複合機のユーザーに対しては「LCRM」の導入をそれぞれ推奨するなど、「iR-ADV」シリーズと「LCRM」を組み合わせたドキュメントソリューションの提供を強化していきます。なお、日本国内における「LCRM」および関連製品の顧客企業への導入やシステム開発については、アドビソリューションパートナーであるキヤノンソフトウェア株式会社が担当します。

キヤノンとアドビ システムズは今後もセキュリティの強化や情報活用の推進など、ドキュメントに関連する業務を最大限に効率化・高付加価値化する環境を共同で提供し、顧客のビジネスの進化や発展、成長に貢献していきたいと考えています。

※紙文書をスキャンして Adobe® PDF の生成が可能のほか、Adobe® PostScript® 3TM プリントにも対応し、スキャンからプリントまでアドビ システムズの技術を盛り込んだ業界初のさまざまな機能を実現。Adobe PDF と「LCRM」との連携により、紙から電子化された文書からネットワーク上に生成する文書に至るまで、強化された包括的なセキュリティ管理が可能。